

日本原子力学会 原子力安全部会

福島第一原子力発電所事故  
に関するセミナーシリーズ  
第3回

2012年6月26日

(於)東京、東京大学工学部11号館

# セミナーの趣旨

- 福島事故に関し、「何が悪かったか、今後何をすべきか」について議論する。原子力学会はわが国のアカデミアを構成する組織であることを踏まえ、学会としてあるいは原子力安全全部会として何をすべきかの観点を重視する。
- 原子力は多くの技術の総合であり、福島事故を含め、事故は技術分野の隙間で起きることが多い。セミナーの目的は、事故そのものの解説ではなく、事故によって示された課題を踏まえて今後より安全な原子力を確立していくために、技術分野間あるいは産官学間の相互理解を進めることを目的とする。

# 本日のプログラム

報告 (13:35～15:10)

- 「第2回セミナーの概要」  
村松健 (原子力安全部会幹事、東京都市大学)
- 「福島第一原子力発電所事故について(2、3号機)」  
宮田浩一 (原子力安全部会幹事、東京電力(株))
- 「計測系の課題」  
磯田浩一郎 (株式会社東芝)

休憩 及び 報告内容に関する質問 (15:10～15:40)

セミナー参加者による総合討論 (15:40～17:00)

司会: 関村直人(原子力安全部会副部会長、東京大学)

論点整理: 阿部清治(原子力安全部会部会長、JNES)